社協だより

福祉とさちょう

NO. 114
令和5年7月発刊

元気を届け、元気をもらったふれあい郵便

～26年間、手紙で交流を続けている方をご紹介～

社会福祉法人　土佐町社会福祉協議会
〒781-3401
土佐町土居206 保健福祉センター内
電話　82-1067　82-1069（ＦＡＸ）
メールアドレス　tosasameura@shirt.ocn.ne.jp
ホームページ　https://www.tosa-shakyo.or.jp

『やっぱりここにおってよかったねぇ』といえる福祉のまちづくり

社会福祉協議会は、住民の主体性を原動力としながら、生活課題を抱える一人ひとりが地域の一員として『自分らしく』暮らせる地域社会（＝福祉コミュニティ）づくりをすすめる」ことを目的とした民間組織です。

土佐町社協は、「住民主体の原則」に基づき、地域の皆様の町を愛する心と、人と人との温かいつながりを力に「やっぱりここにおってよかったねぇ」といえる福祉のまちづくりをすすめています。

格差の拡大や人口減少・高齢化に伴い、新たな課題も山積する地域にあって、非常時の対応は平時の取組み無しには力を発揮できません。その平時の取組みこそが地域福祉活動です。近年多発する自然災害、また新型コロナウイルス感染症拡大においても、いざという時に支援を必要とする人々に、どれだけ迅速に対応できるかが、問われます。

また、国が掲げている「地域共生社会の実現」のもと、高知県では「高知家地域共生社会推進宣言」が提言されました。今後は地域における伴走的支援が益々重要視されて参ります。行政をはじめ、各関係機関と連携を取りながら住民のさらなる信頼関係を構築していくことが重要と考えます。

理事としての役割は、法令及び定款を遵守し、当法人のため忠実に職務を執行する事です。さらに、監事の役割は理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する事。またいつでも理事、及び当社協の職員に対し事業の報告を求め又は、業務及び財産の状況を調査できる事です。

今回就任した私達は、当社協の組織力を強化し、地域福祉の基盤である旧小学校区のコミュニティ再生をすすめながら、住み慣れた地域で暮らせるよう、一人ひとりに寄り添う支援をすすめていきます。

役職員一丸となって、地域福祉推進の為に邁進する所存でございます。何卒、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事・監事のご紹介

任　期：　令和５年6月20日から
　　　　　令和７年6月に実施する定時評議員会議決の時まで

会　長：　山下秀雄

副会長：　西村景男　川田　勝

理　事：　伊藤資子　川田美代子　田村 豊　筒井京野
　　　　　和田 豊　和田純一　伊藤充恵

監　事：　伊藤楯男　川田宜広

事業報告

「やっぱりここにおってよかったねぇ」と言える福祉のまちづくりをめざすことを使命として、

一　福祉の心を育てる町に
二　生きがいとやすらぎのある町に
三　だれもが安心して生活できる町に
四　子どもたちが健やかに育ち、成年が輝ける町に

という四つの理念をかかげ、事業に取り組んでいます。

令和四年度は、新事務局体制の元、新たな職員体制での組織づくりや、事業の在り方の再確認、マニュアルの大切さを意識した年となりました。コロナ禍からの回復を期待しつつ、取り組みましたが、事業遂行への影響を多大に受ける中、益々伴走型支援をはじめ、生活上の相談対応、ニーズの多様化への対応が必要となっています。

法人運営部

理事会、評議員会の運営や職員体制の整備、広報活動に努めています。三年ぶりの社会福祉大会の開催では、ご長寿五名、民生児童委員功績二名、ボランティア活動一名、社協役職員二名の方に大会長より表彰を、また多額寄附者三十一名の方に感謝状をお渡しする事ができました。

昨年度広報に関するアンケートを実施した際にいただいたご意見をできる限り対応させていただきました。ホームページにおいては、不具合の復旧ができました。

在宅福祉部

訪問介護、障害者相談支援、生活困窮者自立相談支援等、個別ケースへの対応に取り組んでいます。

アセスメントの重要性を意識しながら、その人の持っている強みやニーズ把握に努め、多様な生活課題への支援に取り組みました。

相談窓口「きいてねっと」では、福祉サービスについての相談や、経済・生活、体調・病気のことなど、あらゆる相談を承り、職員が対応したり、紹介・仲介や情報提供をさせていただきました。

地域福祉部

ボランティアセンター、あったかふれあいセンター、地域福祉活動計画等、地域との協働事業に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、「集う」事を始め、一部事業が中止となる場面もありましたが、それぞれとの繋がりが途切れないよう、部会においても丁寧に検討し、取り組みました。

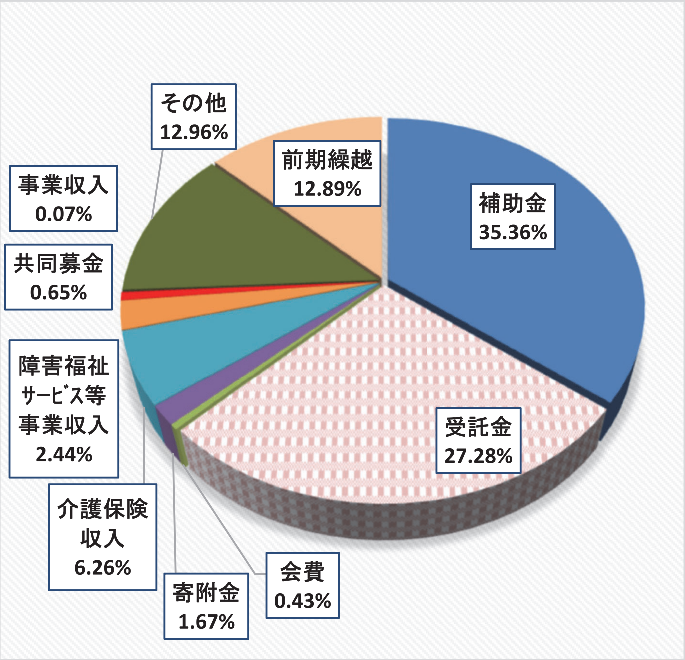
地域福祉活動計画推進においても、懇談会を実施して、地域の方々の声をしっかりと受け止めるよう努めました。

事業報告、決算報告等は、社協事務所にてご覧いただけます。

また、インターネットでは、WAM NET 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムで検索してください。

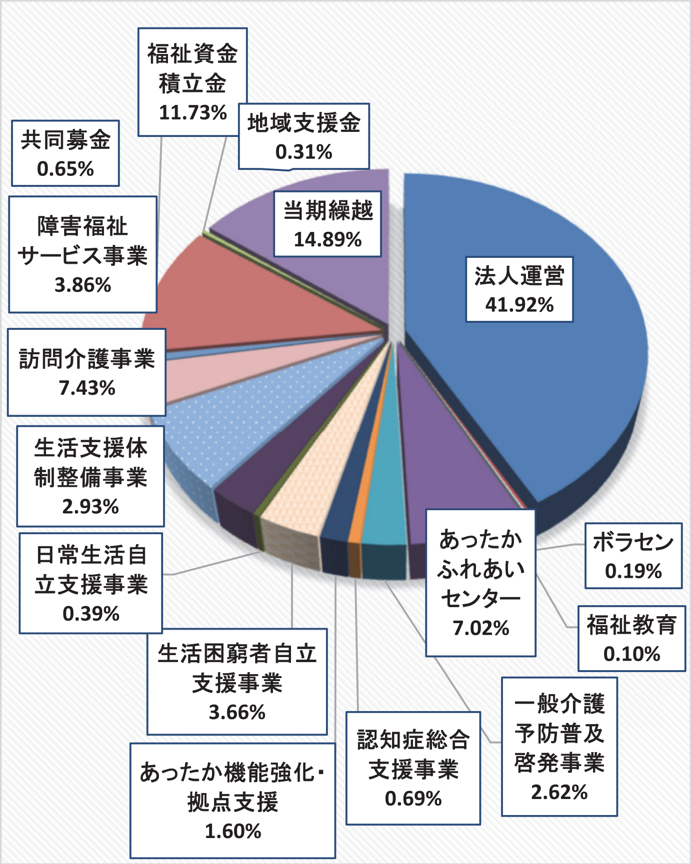
収 支 報 告

収入の部　　合計金額　96,913 千円



補助金	34,272 千円
受託金	26,437 千円
会費	421 千円
寄附金	1,620 千円
介護報酬等	6,063 千円
障害福祉サービス	2,361 千円
共同募金	629 千円
事業収入	63 千円
その他	12,558 千円
前期繰越金	12,489 千円

支出の部　　合計金額　96,913 千円



法人運営費	40,626 千円
ボランティアセンター	185 千円
福祉教育	100 千円
あったかふれあいセンター事業	6,800 千円
一般介護予防普及啓発事業	2,539 千円
認知症総合支援事業	670 千円
あったかふれあいセンター（機能強化/拠点支援）	1,555 千円
生活困窮者自立支援事業	3,549 千円
日常生活自立支援事業	375 千円
生活支援体制整備事業	2,838 千円
訪問介護事業	7,205 千円
障害福祉サービス事業	3,744 千円
共同募金	629 千円
福祉資金積立	11,371 千円
地域支援金	300 千円
当期繰越金	14,427 千円

実施事業

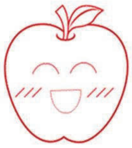
福祉教育・ボランティアセンター事業・一般介護予防普及啓発事業・認知症総合支援事業
訪問介護事業（介護保険・日常生活支援総合事業）・障害福祉サービス事業
相談支援事業（障害者・児）・生活困窮者自立支援事業・日常生活自立支援事業
あったかふれあいセンター事業・生活支援体制整備事業
あったかふれあいセンター機能強化･拠点支援事業・訪問活動・地域の集い活動支援
心配ごと相談所・総合相談窓口・広報活動・団体事務局・その他福祉事業

推進懇談会を開催しました

毎年、計画の推進を図るため、地区長や民生委員さんをはじめ、地域の皆さま、役場の地域担当職員、そして地域に関係する団体等の方々と社協職員が一同に会し、懇談を行っています。

懇談会では、昨年度の活動の振り返りを行い、自分達の地域での活動に対する満足度をイラストで表します。その後、今年度の取り組みを話し合います。

令和4年度の取り組みへの満足度は？

地域名	活動目標	活動に対する満足度
石　原	・みんなで「安心して暮らせる石原」について話し合おう	
地蔵寺	・地域の防災を考えよう ・買い物・通院などの手段を考えよう ・子育て世代も含めて、地域の見守りを進めよう	
平　石	・防災をすすめよう ・地域(3 地区)の維持にむけた話し合いをしよう	
森	・防災意識・関心を高めていこう ・活動計画の実行部隊をつくろう	五区・駒野 上ノ土居 中村・大谷 中央 南境・東境 南泉・宮古野
相　川	・地域で人が集まる機会を続けていこう	
和　田	・「和田を元気にする会」を中心に皆で話し合い、和田の地域づくりを具体化させていこう	
田　井	・地域住民のつながりを高めていこう	上野 田井 中島・樺 三島
瀬　戸	・地域に住む人同士が見守り助け合い、できる限り今の生活を維持していこう	
南　川	・百万遍や神祭を続けていこう ・人が暮らし続けられる南川地域を残していこう ・南川の歴史を残していこう	
松ヶ丘	・集落活動センターを立ち上げ、皆で元気な松ヶ丘を作っていこう	

今年度の取り組みは？

今年度、地域福祉活動支援金を活用して行う取り組みを紹介します。

地域の皆様からお寄せいただいたご寄附の一部が、地域福祉活動計画支援金として活動計画の取組みに役立てられています。

各地域の予定は以下のとおりです。

旧田井小学校区

【実施主体】　上野地区
（代表　西村　視保博）
【助成金額】２８，０００円
【活動内容】コロナ禍以前、貴重な世代間交流の場だった餅つきを再開します。餅つきをきっかけに、地域行事への関心を促し参加者を増やしていきます。

旧森小学校区

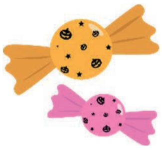
【実施主体】森地域集落活動センター
みんなの森
（代表　近藤　卓士）
【助成金額】１０７，０００円
【活動内容】地域内の防災活動を推進します。防災に関する勉強会や、活動を通じて、人と人が知り合うきっかけをつくります。

旧相川小学校区

【実施主体】相川ららら
（代表　澤田　みどり）
【助成金額】３０，０００円
【活動内容】愛校作業やフォトコンテスト等の開催を通じて、地域の魅力を再発見するとともに、集まる機会をつくり、人と人とのつながりづくりを進めます。

旧平石小学校区

【実施主体】平石地区
（代表　西村　尚）
【助成金額】７０，０００円
【活動内容】地域住民参加交流の場として、「平石おかしな小学校」を開催します。催しをきっかけに、地域の維持に向けた話し合いにつなげていきます。



旧地蔵寺小学校区

【実施主体】地蔵寺集落活動センター
（代表　山下　有司）
【助成金額】５０，０００円
【活動内容】愛宕山への桜の植栽活動を通じて、子どもから高齢者までのつながり作りを図ります。苗木はオーナー制にし、成長を見守り開花したら交流イベントを開催します。

旧石原小学校区

【実施主体】いしはらの里協議会
（代表　山下　秀雄）
【助成金額】１５，０００円
【活動内容】スマートウォッチやスマホを活用した健康管理の取り組みを進めます。勉強会を開いたり、スマートウォッチの普及を図ります。

※地域福祉活動支援金は、活動計画を推進する地域・組織等からの申請を受け、
土佐町社会福祉協議会地域支援積立金規程に基づく審査を経て交付が決定されます

心配ごと相談所開設日程のお知らせ

昭和 41 年から土佐町心配ごと相談所を毎月 13 日（休日の場合は後日へ変更）し、午前 10 時～午後３時（昼休み時間は除く）まで開設しています。生活上のあらゆる心配ごとの相談に応じております。お気軽にご相談ください。
人権相談所、行政相談所、消費生活相談所も開設しています。
★秘密は厳守します。

月　日	場　所
令和５年　８月１４日（月）	森　（保健福祉センター）
９月１３日（水）	田　井　（農村環境改善センター）
１０月１３日（金）	地蔵寺　（役場地蔵寺支所）
１１月１３日（月）	森　（保健福祉センター）
１２月１３日（水）	田　井　（農村環境改善センター）
令和６年　１月１５日（月）	地蔵寺　（役場地蔵寺支所）
２月１３日（火）	森　（保健福祉センター）
３月１３日（水）	田　井　（農村環境改善センター）

『きいてねっと』の紹介

身近で気軽に相談できる「きいてねっと」です。みなさまからの相談を一緒に考えて、各専門機関や専門相談につなげ、課題解決にむけていきます。

まずはお気軽に連絡ください

〇電話：82-1067

〇メール：tosasameura@shirt.ocn.ne.jp

開催してみませんか？

出前講座

楽しく学んで
知って得する

地域やグループで「なにか学びたいな～」「今度集まりがあるけど、何か企画したいな」とお悩みの方、社協の出前講座をご活用ください！

3～4人のグループでの開催も可能です。「こんなことしたいけどできるかな」と相談いただければ、参加者や講座内容、講師について一緒に考えます。開催希望日までに余裕をもってご相談ください。

講座内容（例えば）…
認知症学習会、レクリエーションについて学ぶ、災害に備える、フレイル予防・介護予防体操、介護保険制度について、介護用品について、地域のつどいの始め方　などなど

募集中♪

駒野ミニデイ　「認知症予防と脳トレ」

６月８日（木）駒野ミニデイにて、認知症予防についての考え方を学びました。参加者全員で脳トレ問題にも挑戦し、「ひとりでおったらなにかしようという気持ちにならんけど、みんなでやったら盛り上がるね」「今まで通り、元気に過ごすことが一番や」とワイワイたのしく学ぶことができました(^^)講座のおわりには、「これからも集いに来ないかんね～」と早速来月のつどいの話に。これからもつどいを楽しく続けていきたいですね。

１人で脳トレするよりも
みんなでやることが大切！
会話によって新しい刺激が
もらえますよ～

キャラバンメイトさんによる講座

ほっこりエピソード

元気を届け、元気をもらったふれあい郵便

平成９年から手紙の交流をはじめて 26 年。今でも、手紙や電話での交流を続けているおふたりにお話を伺いました。

岡村喜久子さん（高知市在住）は「何か私にもできることがあれば」と仕事の合間をぬって、嶺北地域の高齢者の方々に手紙を送るボランティア活動を 26 年間続けています。22 名の方と手紙の交流を続け、その中のお一人で現在も交流が続いている方が青木アヤ子さん（土佐町南境）です。季節の事柄や体調のこと、家族のことなど手紙や時には電話でお話をされてきたそうです。青木さんは、「岡村さんからの手紙が本当に嬉しかった。すごく励まされた」と。岡村さんは「喜んでもらったことが私の励みになり、力をもらいました。」とお互いにエール交換を長い間続けて来られました。岡村さんはこれからも続く限り手紙や電話での交流をしていきたいし、手紙での交流を希望される方がいたら、これから仲間を増やしたい」と希望されています。

近年 SNS やメールでの繋がりが主流になるなか、心を届ける手紙のあたたかさを改めて感じることができました。

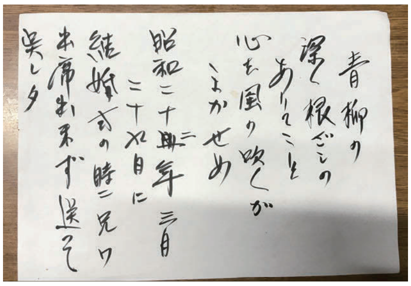
岡村さん（上）　アヤ子さん（下）

あったかふれあいインタビュー

青木アヤ子さんは土佐町南境在住、昭和３年生まれの９４歳。「近所の方と女子会をすることが楽しみ。季節の野菜を作ることが楽しみ」とお話をきかせてくれました。

日課は庭や畑の手入れと、夜寝る時に布団に入ってから「忍耐は我慢することではなく、希望を持って耐えること」と声を出しているそうです。青木さんは 20 歳で 10 人の大家族の中へお嫁に来られました。嬉しいこともあったけど、朝早くから夜遅くまで家事や蚕の仕事などをして苦労したそうです。「辛いことも、しんどいこともあったけど、自分に（辛抱せないかん）と言い聞かせてきました。」「今は体の不調もあり、生きていくのは本当に大変なことですが、希望を持って頑張っています。」と話してくれました。

アヤ子さんがお嫁い入りの際に、お兄さんから受け取った短歌が今でもアヤ子さんの心の支えになっているそうです⇒



押し車の “ベンツ”（息子さん命名）で「畑やご近所へいくことが楽しみ。若い人に、できるだけ面倒をかけないように、自分でできる事はやっていきたい。」と笑顔でお話してくださいました。

ひよこぐみ写真館 83号

たかはし　りつき　〔上野〕
髙橋　凌月くん
令和3年7月6日生まれ

お姉ちゃんと一緒に
たくさん遊んで、たくさん
経験して、元気に大きく
なって下さい。

パパ　雄平 さん
ママ　敦美 さん

〔中村〕 やまさき　たける
山﨑　健壘くん
令和3年7月6日生まれ

はずかしがりやだけど、
とってもやんちゃな健壘君。
健やかに元気に大きく
なってね。

パパ　敦憲 さん
ママ　幸子 さん

社協への福祉のご寄附

自：R5．4．1
至：R5．6．30

地区名	氏名	金額	備考
	匿名希望様	100,000	香典返し
田井	和田咲子様	ハガキ・切手	
高知市	平谷藤江様	20,000	香典返し
高知市	川井和宏様	100,000	香典返し

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。

令和5年度
社協会費のご協力をお願いします

住民の皆様と共に「ここにおってよかった」と言えるまちづくりをめざし、役職員一丸となって福祉事業に取り組んでいます。

福祉教育や訪問活動、社協運営の資金に活用させていただいています。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本赤十字社 土佐町分区

日本赤十字社
JAPANESE RED CROSS SOCIETY

赤十字活動資金の募集にご協力いただきありがとうございました！

地域の皆様をはじめ、多くの企業・事業所の方々にご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

皆様からご協力いただきました、397,960円（6月8日現在）の活動資金を高知県支部に全額送金いたしました。

この募金は、災害救援や献血事業など、日本はもとより海外においても、多くの人命を救う為に使われています。土佐町への交付金は、災害に関する研修、防災用品の購入や防災訓練等の地域活動に活用されています。

今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社土佐町分区長　和田　守也

大地震がくると暴れだす!? あなたの家は本当に安全ですか?

おうちの中のモンスター！

災害に備えるノウハウなどの「命を守る」情報を家族や身近な人たちと一緒にサイトを見ながら防災力を高めましょう。

動画はこちらから↓↓

赤十字は、動いてる！

SAVE365